

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成22年10月14日(2010.10.14)

【公表番号】特表2010-509655(P2010-509655A)

【公表日】平成22年3月25日(2010.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-012

【出願番号】特願2009-535264(P2009-535264)

【国際特許分類】

G 08 B 13/12 (2006.01)

【F I】

G 08 B 13/12

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月24日(2010.8.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

又、図4A及び図4Bには、センサ10の外部の別のデバイスと回路ボード20との結合を許容するべく好ましくはセンサ10内に含まれるセンサ10内の開口部20_も示されている。外部デバイスは、例えば、コンピュータマザーボード、コネクタ、又はケーブルであってよい。図5は、開口部20_によって構成要素21をコネクタ80に結合させることが可能であるような例示用の実施例を示す。又、図4A及び図4Bには、基板11から伸びるI/Oリード40も示されている。図6は、開口部20_が形成されていない例示用のセンサ10の平面図である。この図6のセンサ10は、図2Bに示されているように、ケーブルを使用し、重複部分のゾーンを介して接続されることになるであろう。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a)回路ボードと、

(b)(i)第1面及び第2面を有する基板と、(ii)前記第1面上の導電トレースの第1レイヤとを有する不正開封反応型センサとを備え、

(c)前記不正開封反応型センサは、少なくとも1つの重複領域を有する状態で前記回路ボードの周囲に巻き付けられており、

(d)前記不正開封反応型センサは、前記少なくとも1つの重複領域においてのみ、前記第2面上の導電トレースの第2レイヤを有することを特徴とする物品。

【請求項2】

前記基板は、不透明な絶縁フィルムである請求項1記載の物品。

【請求項3】

前記基板は、PETである請求項1記載の物品。

【請求項4】

前記第1レイヤは、前記回路ボードに隣接する請求項1記載の物品。

【請求項5】

前記基板及び前記エンクロージャは、前記回路ボードと外部デバイスとの間における通信用の開口部を更に有する請求項1記載の物品。

【請求項6】

前記外部デバイスは、印刷回路ボードである請求項5記載の物品。

【請求項7】

前記物品は、前記回路ボードに装着され、且つ、前記開口部内に配設されたコネクタを更に有する請求項5記載の物品。

【請求項8】

前記物品は、前記回路ボードに装着され、且つ、前記開口部内に配設されたケーブルを更に有する請求項5記載の物品。

【請求項9】

前記回路ボードは、無線送信機を有する請求項1記載の物品。

【請求項10】

前記不正開封反応型センサは、前記少なくとも1つの重複領域に前記基板の2つのレイヤのみが存在するよう成形される請求項1記載の物品。

【請求項11】

前記不正開封反応型センサの前記基板の前記第2面は、露出した導電トレースを有していない請求項1記載の物品。

【請求項12】

前記不正開封反応型センサの前記基板は、接着剤を更に有する請求項1記載の物品。

【請求項13】

前記接着剤は、前記導電トレースの第1レイヤ(14)又は前記導電トレースの第2レイヤ上に配設される請求項12記載の物品。

【請求項14】

前記接着剤は、PSAである請求項12記載の物品。

【請求項15】

(a) 第1面及び第2面を有する基板であって、前記第2面の重複部分と共に前記第1面の重複部分を生成するように折り曲げられるべく構成された基板と、

(b) 前記第1面上の導電トレースの第1レイヤと、

(c) 前記第2面の前記重複部分のみにおける導電トレースの第2レイヤとを有しており、

(d) 前記第2面は、導電トレースが存在しない領域を有し、

(e) 前記導電トレースの第2レイヤは、前記導電トレースの第1レイヤに電気的に接続されることを特徴とする不正開封反応型センサ。

【請求項16】

前記基板は、不透明である請求項15記載の不正開封反応型センサ。

【請求項17】

前記基板は、絶縁性を有する請求項15記載の不正開封反応型センサ。

【請求項18】

前記基板は、PETである請求項15記載の不正開封反応型センサ。

【請求項19】

前記基板は、接着剤を更に有する請求項15記載の不正開封反応型センサ。

【請求項20】

前記接着剤は、前記導電トレースの第1レイヤ上に配設される請求項19記載の不正開封反応型センサ。

【請求項21】

前記接着剤は、PSAである請求項19記載の不正開封反応型センサ。

【請求項22】

前記不正開封反応型センサは、開口部を更に有する請求項15記載の不正開封反応型センサ。

【請求項 2 3】

前記導電トレースは、予測不可能なパターンを有する請求項 1 5 記載の不正開封反応型センサ。

【請求項 2 4】

前記不正開封反応型センサは、I / O リードを更に有する請求項 1 5 記載の不正開封反応型センサ。

【請求項 2 5】

前記不正開封反応型センサは、前記導電トレースの第 1 レイヤを前記導電トレースの第 2 レイヤに接続するための少なくとも 1 つのビアであって、前記重複部分において前記基板を貫通した少なくとも 1 つのビアを更に有する請求項 1 5 記載の不正開封反応型センサ。

【手続補正 3】

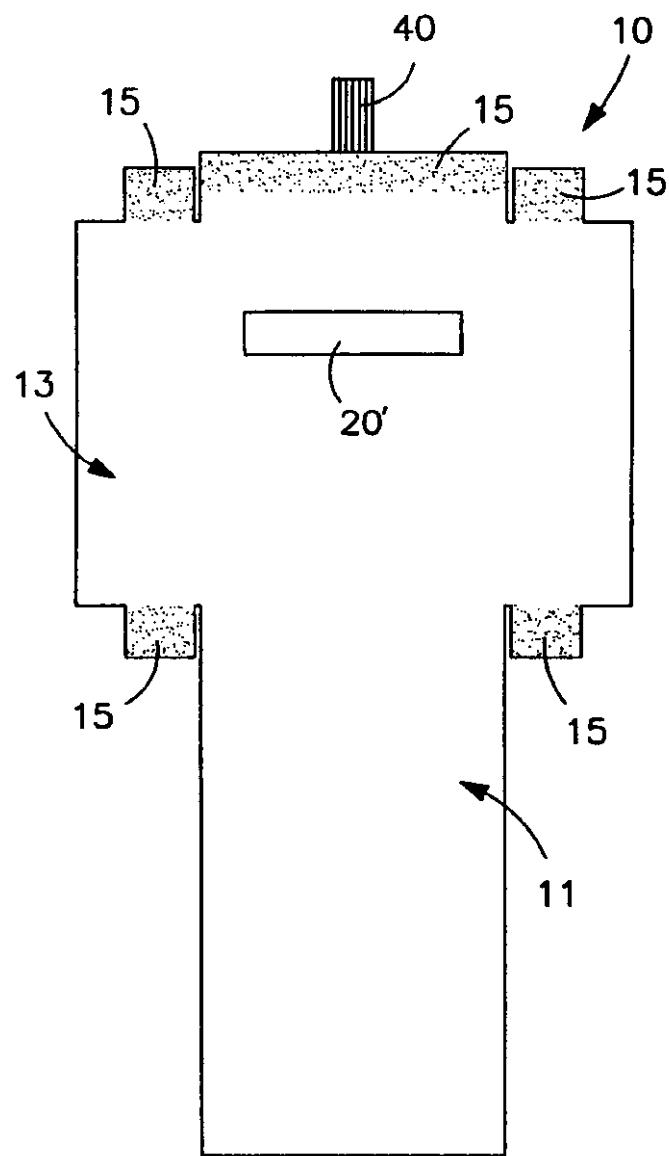
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4 A

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4 A】

**FIG. 4A**

【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4 B

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4 B】

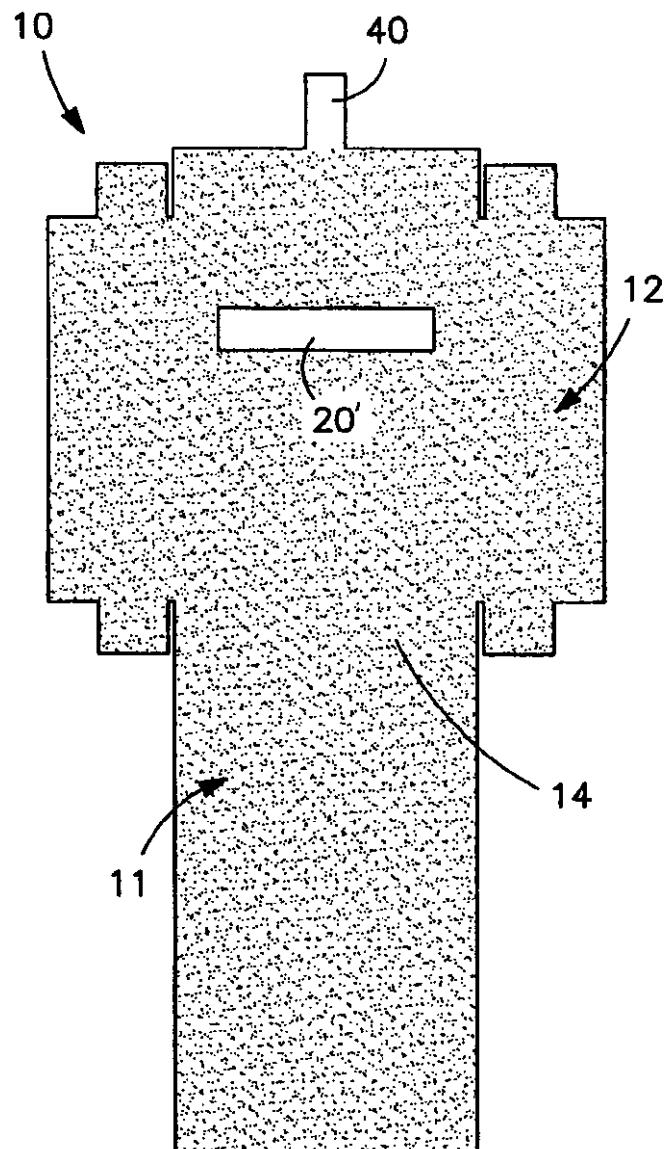


FIG. 4B

【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5】

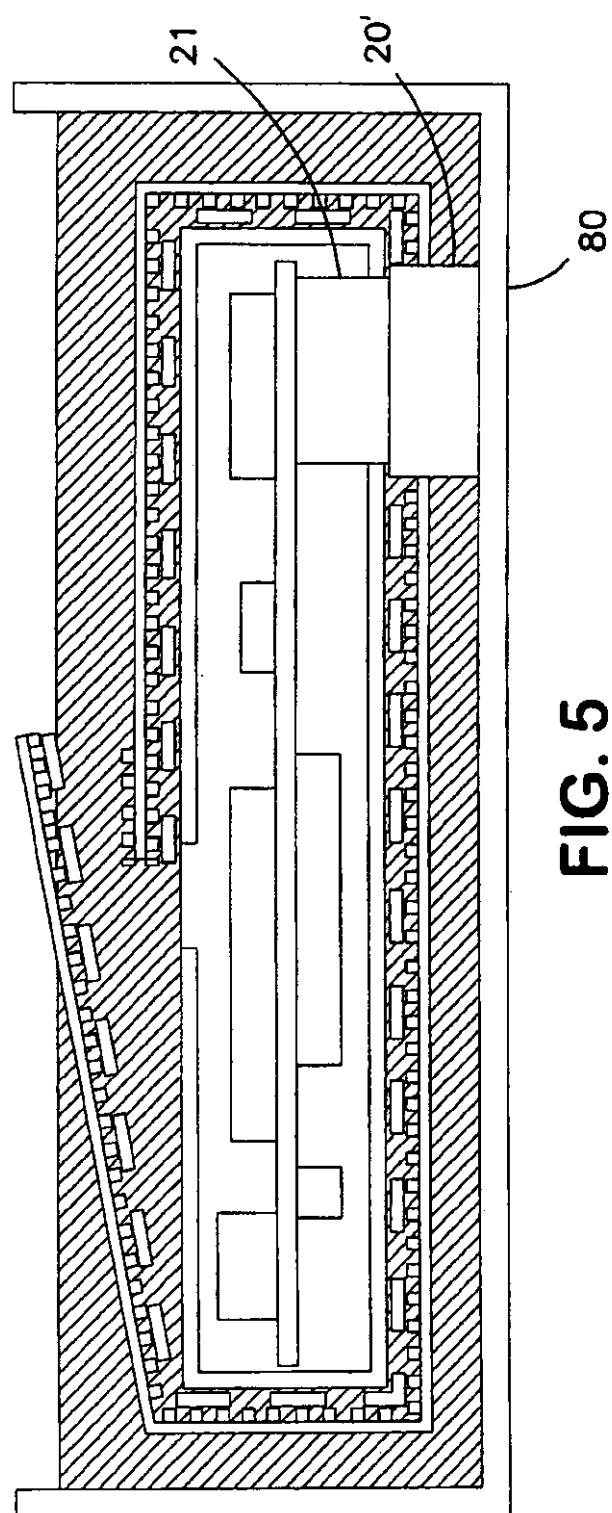


FIG. 5